

第2回 ひきこもりの 地域支援を考える研修会

今年3月末 内閣府は、40歳～64歳の中高年のひきこもりが推計で61万人以上と発表しました。平成27年の調査では、15歳～39歳のひきこもりが54万人以上でしたので、15歳～64歳の全体で115万人以上になることがわかりました。

特に、引きこもりが長期化して本人が高年齢化するとともに、親も高齢で働けなくなって困窮する問題(8050問題)が深刻な社会問題になっており、けっして他人事ではありません。

今年3月に開催したこの研修会には80名の参加があり、ひきこもりに対する関心の高さと地域支援の可能性を感じました。

第2回は、ひきこもりを体験した方をお招きし、お話しをうかがう機会を設けました。関心がある方の多くのご参加をお待ちしております。



と き 令和元年**8月8日(木)** 午前10時～11時45分
受付:午前9時45分～

ところ 福富ゆうあい館 研修室

内容 体験談「“ひきこもり”あの頃を経て、今思うこと」

話し手 地域互助力向上ネットワーク 0-100地域の輪

代表 中島直子さん (唐津市在住)

参加費 無料

受講申込みは不要です。直接会場にお越しください。

主催

白石町社会福祉協議会(白石町交流館内)※旧有明町役場

TEL 0954-65-8960